

どんぐりくん

発行者 NPO 法人地球の緑を育てる会
主たる事務所
つくばみらい市陽光台 1-1-2 B-829
〒300-2358 Tel&Fax 029-757-1539
従たる事務所
〒305-0046 つくば市東 2-15-31
Tel&Fax 029-851-0120
E-mail office@greenglobe.jp
URL <http://www.greenglobe.jp>

第18回筑波山水源の森植樹祭



植樹前の筑波山真壁地区鬼ヶ作国有林
(茨城森林管理署ホームページより)

国土の約7割を占める日本の山林は一見緑豊かに見えますが、様々な問題を抱えています。今から約90年ほど前、日本の主だった山々は禿げていたのをご存知ですか？燃料としての森林伐採や度重なる自然災害のため、禿げて荒地になったしまったと言われていました。この事実を憂えた当時の林野関係者が植樹を提唱、第一回目の植樹が行われたのが筑波山北面の桜川市真壁羽鳥地区にある鬼ヶ作国有林



昭和9年第一回植樹に参加された林野関係の方々
(茨城森林管理署ホームページより)

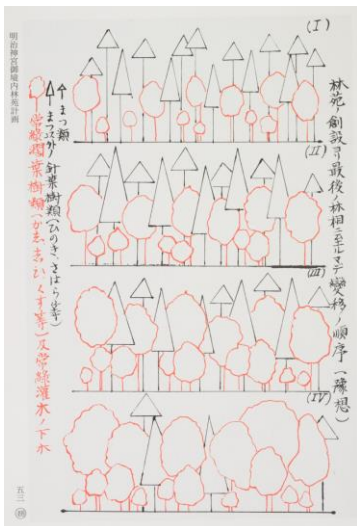
です。この地は「全国緑化行事発祥の地」として、その経緯の特異性から2013年、日本の林業遺産に登録されました。第二次世界大戦の前後も政策として植林は続けられ、戦争によって失われた家々の用材使用目的もあり、日本全国の山々はスギやヒノキの針葉樹林で覆われていきました。林業の盛んな時期もありましたが、次第に安価な海外からの木材に押されて、伐採適期を迎えながら管理のされないまま放置されている山々が増えていったのも事実です。また、花粉症で悩む多くの人々の対策として、花粉の飛ばないスギの苗を植えるため、既存の針葉樹を皆伐してしまう山もあり、このスギの苗が育つまでの間に土砂崩れを起こす危険性も秘めています。その他、外国により買われてしまう山、太陽光発電設備設置で緑が失われる山、ゴルフ場開発のために失われる緑環境など、現在の日本の山林は決して緑豊かであると安閑としてはいられない状況なのです。

筑波山は山頂にブナ林を、中腹にアカガシ林を有し、生態学的にも貴重な山で国定公園に指定された筑波山自体がご神体の山です。中腹に建つ筑波山神社は375ヘクタールという広大な神社林を有し、この一部には多くの山々と同様に、約40年くらいに植えられたスギ、ヒノキなどの針葉樹林があります。2006年、同神社と当会はこのスギ、ヒノキ林を間伐、その間に広葉樹を植えることで自然本来の山の姿に再生する活動を行うことに合意、生態学に基づく植樹を実践されていた、横浜国立大学名誉教授の宮脇昭先生に調査をお願いし、この活動が始まったのです。

明治神宮は明治天皇と昭憲皇太后を祀った神社で、明治神宮の森は荒地であった渋谷区代々木に全国からの献木を植樹した人工林の森です。1920年、中心になって森の設計を手掛けた本田清六博士等は、当時の内務大臣・大隈重信氏のスギ、ヒノキ、マツ等の針葉樹を薦める意見に別の方法を提言、種子を落とし、自然の力で森を再生維持できるシイ、カシ類、クスノキなどの常緑広葉樹の植樹で森づくりを実行したのです。全国からの針葉樹も含む10万本の献木は計算した上、すべて植えられたそうです。針葉樹も広葉樹も共に育つ針広混交林となり、150年かかると予定された森の形成は、それを待たずに100年で立派な森の姿を形成していると言われています。



明治神宮の森の姿
(明治神宮ホームページより)



本田清六氏の植樹計画図
(明治神宮ホームページより)



↑ ↓ 間伐造成作業



この経緯を考えると、当会が進めている植樹は、まさにこの明治神宮の森の創生の手法と似ており、健全な既存のスギ、ヒノキを残しながら、筑波山本来の植生である、シラカシ、ウラジロガシ、アカガシ、スダジイ、ヤマザクラ、コナラ、ヤブツバキ、シロダモ、ユズリハなどの広葉樹を植えることで筑波山本来の森の再生を目指しています。

地球温暖化防止の植樹の役目のみならず、民間人でもできる日本の森林再生のモデルとなるべく、この活動に心を寄せて下さるリピーターの方々も多くいらっしゃいます。

穏やかな天候に恵まれた5月26日、第18回筑波山水源の森づくり植樹祭が行われました。この植樹祭の特徴は、事前に適切な光を取り入れ、適度な空間を作るために、過密に植えられたスギ、ヒノキ等を間伐し、間伐材を土留めに使用、マルチングとして使用するため、間伐材から葉をカットするなどの、植樹地造成作業に多くの時間と労力が要ることで。当会の有志が何度も山に入って、この作業を行いました。



筑波山の特徴や植え方について、説明される藤原一繪先生先生
(筑波山神社境内の開会式にて)

植樹祭当日には合計248名の方々にお集まり頂き、当初予定していた600本の苗木を100本増やして、企業、団体、大学、個人の方々の手によって植えて頂きました。今年も怪我無く、無事終了することができて、関係して下さった多くの皆様に感謝申し上げます。



植える



間伐材の葉をマルチングをして植樹完了



筑波山神社隋心門をバックに参加者の記念撮影



植樹後、植えた年によって、それぞれの表情を見せる森の姿



■新しく会員になられた方々ありがとうございました。(2024年1月1日から2024年5月31日)(敬称略)(順不同)
丸山淑子(静岡県南伊豆町) 藤本恭子(茨城県つくばみらい市) 武井千恵子(東京都豊島区) 寺嶋泰子(茨城県取手市) 鈴木純子(茨城県つくばみらい市)

■ご寄付を下さった方々ありがとうございました。(2024年1月1日から2024年5月31日)(敬称略)(順不同)
光明山法瀧寺(広島県広島市) 町田靖(千葉県松戸市) 細井敏弘(茨城県古河市) 藤田瞳(福岡県福岡市) 室崎和夫(茨城県つくばみらい市) 登坂璋典(茨城県日立市) 匿名希望の方(神奈川県厚木市) 山本芳男(埼玉県さいたま市) 柴田憲良(千葉県千葉市) NPO 法人車社会の環境改善協議会(千葉県我孫子市) 檜原功(茨城県古河市)